

第2回検討委員会：平成25年12月9日

議題

1. 神宮橋のひびわれ損傷の状況
2. 損傷要因と耐力の推定
3. その他

議事概要

1. 神宮橋のひびわれ損傷の状況
 - ・ひびわれの損傷状況、調査に基づく現状について説明
2. 損傷要因と耐力の推定
 - ・損傷要因の推定について説明
 - ・損傷を考慮した耐力の推定について説明
3. その他
 - ・今後の対応策（案）について説明
4. 主な意見
 - ・「現状のひびわれ損傷が地震後どのようにして発生したのか」が明確になっていない。
 - ・次の地震でどのような事が起きるのかを想定し、必要な対策を実施することが重要。
 - ・例えば、ひびわれの発生箇所・順番、時間的経過と、橋脚の高さ、地盤条件等を踏まえた損傷パターンから現状を類推するなど、橋脚のひびわれ、変形・変位の原因を想定し、その結果を反映した耐力照査とすべき。
 - ・今後の地震で生じる橋脚の沈下及び沈下による影響を適切に確認できるよう、現在行っているモニタリングについて、センサーの設置位置や箇所数などの妥当性を確認すべき。
 - ・上記の「ひびわれの原因解析と耐力照査」等の指摘事項について検討し、その結果を踏まえたうえで、供用期間限定とした今後の対応策を検討することとし、対応策（案）の方向性については了解された。